

# アグリ筑西

## 2018 1月号



あけましておめでとうございます。  
本年もアグリ筑西をよろしくお願いたします。

県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター) 発行  
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



## 園芸用施設の雪害対策をご確認ください



冬も本番となりました。降雪による被害を出さないために、自身のハウスの雪害対策について、事前の点検をお願いいたします。

### 事前の対策

- 外張り被覆資材のたるみや破れは、雪の滑落を阻害するので、降雪前に補修してください。また、パイプジョイントや筋かいのはずれ等を点検し、ハウスバンドのネジレ・緩みを修正してください。
- 著しい降雪が予想される場合は、応急補強用の支柱や筋かい等を取りつけてください(図1・図2)。

### 降雪時の対策

- 屋根に積雪した場合、速やかに雪おろしを行い、被覆資材が雪でたるみ滑落困難になるのを防いでください。
- 散水による除雪・融雪は、雪の積雪を防ぐ目的で積雪前から行う場合は有効ですが、積雪後に行くと水を含んだ雪が重くなり、施設の倒壊を引き起こす可能性が高まるため、実施しないでください。
- 暖房機等が設置されている場合は、内部被覆(二重カーテン)を開放した上で、可能な範囲で施設内の温度を高め、屋根雪の滑落を促進してください。
- 暖房機等が設置されていない場合は、施設の気密性を高め内部被覆(二重カーテン)を開放し、地熱の放射により室温を上昇させることで、屋根雪の滑落を促進してください。

図1 支柱による補強

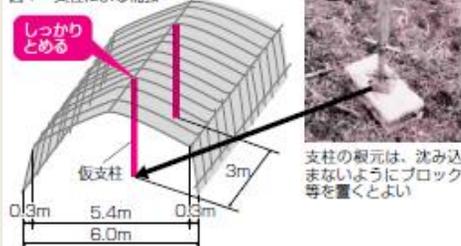
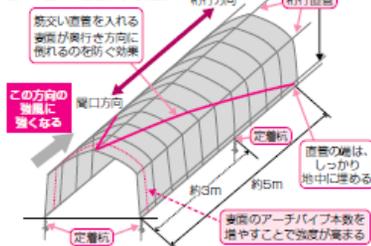


図2 筋かい適宜による補強



詳細は、茨城県農業総合センターHPの技術対策ページに「降雪に対する技術対策について」が掲載されていますので、ご覧ください。



## コギク電照栽培講習会を開催！！



11月17日、JA北つくば花き部会を対象にコギク電照栽培講習会を開催し、生産者11名(うち2名はこれから電照栽培を導入予定)、JA担当者2名が参加しました。

講習会では、電照栽培の基本的な考え方と今年のお盆向け出荷の開花遅れの原因について説明し、次年度対策として、電照適品種の導入や2段階消灯を再確認しました。また、電照栽培に取り組んだ生産者から問題点や感想を聞き、虫害対策や新たな作型における電照活用などについて、情報交換を行いました。

普及センターでは、引き続き、コギク専作経営体を育成していきます。



講習会の様子



## 農業学園 経営講座を開催！！

11月28日、農業学園「経営入門講座」を開催し、13名が参加しました。講座では、経営戦略を考える手段となるSWOT分析や経営上の課題解決の流れであるPDCAサイクル、さらに経営管理の際に重要となる複式簿記の概要を学びました。

学園生からは「自らの経営を見つめなおす機会になった」「見つけた課題を解決できるよう次作に取組みたい」といった声が聞かれ、自身の今後の農業経営について考える良い機会となったようでした。



講座の様子

また、講座終了後には学園生同士の交流会を開催しました。普段は講座でしか会うことのない学園生ですが、夢や趣味など様々なことについて語り合うことで、受講生同士の交流を深めました。普及センターでは、今後も夢を追う就農者の支援を続けていきます。



## 農業女子会 第3回講座を開催！！



11月10日、管内の若手女性農業者を対象に、筑西地域農業女子会第3回講座を開催しました。当日は受講者4名と筑西地域女性農業士3名が参加し、下妻市のビアスパークしもつま体験工房においてソーセージ加工体験と交流会を行いました。

加工体験では、豚挽肉や香辛料を羊の腸に詰める作業から桜のチップでの燻製まで、本格的なソーセージ作りを体験しました。参加者は、初めての腸詰め作業に悪戦苦闘しながらも、美味しいソーセージを作り上げました。

また燻製の待ち時間には、同市で養豚経営を行っている元女性農業士から養豚の一貫経営についての講話を聞きました。受講者から、豚の出産から豚肉に至るまでについて積極的に質問が出され、情報交換も含め有意義な時間となりました。

次回、2月の第4回講座では、野菜ソムリエを講師に迎え、受講生が栽培している農産物を使った料理講座を計画していますので、参加を希望する方は普及センターまでお問い合わせください。



加工体験の様子



## 苗木の防寒対策をしましょう！

気象庁より、南ペルー沖にかけての広い海域で「ラニーニャ現象」が発生し、その影響で今冬は平年より寒くなる傾向があると発表されました。寒気が流れ込みやすく、太平洋側でも強い寒波に警戒する必要があります。果樹では、苗木や若木は寒風の影響を強く受けるため、風あたりの強い園では樹幹にワラを巻き、しっかり対策しましょう。灌水設備も凍害で破損することがありますので、同様に対策しましょう。



若木には直径10cm程度を目安にワラを巻く

## 普及員のひとりごと ～ 櫻井鎮雄～

今年の抱負は何か。前年の農業いばらきに成瀬まゆみさんが書かれていた『毎日を幸せに生きるヒント』を思い起こし、人生に年数を足すだけでなく、年数に人生を足すような日々を重ねようと思っているのであるが…。

## 編集後記

冬も本番となりました。朝晩と冷え込む日が続き、毎朝、凍った車のフロントガラスを溶かすのに一苦労です。今瀬

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。